

平成 18 年度奈良県産業廃棄物実態調査報告（概要）

1. 調査条件

- ①対象期間 : 平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの 1 年間
- ②対象廃棄物 : 廃棄物処理法に定める産業廃棄物（動物の死体を除く）
- ③調査対象業種 : 農業、鉱業、建設業、製造業（24 種）、電気ガス水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、医療・福祉、サービス業
- ④対象事業者数 : 抽出事業所数 3,076 社（抽出率 8.3%）
回収事業所数 1,478 社（回収率 48.0%）

2. 調査結果（概要）

前回の調査（平成 13 年度）に比べ、本県における産業廃棄物の排出量は増加（約 12.5%）していますが、再生利用率が高まったことにより、最終処分量はほぼ半減しました。

①奈良県における産業廃棄物の排出量、再生利用量、減量化量及び最終処分量

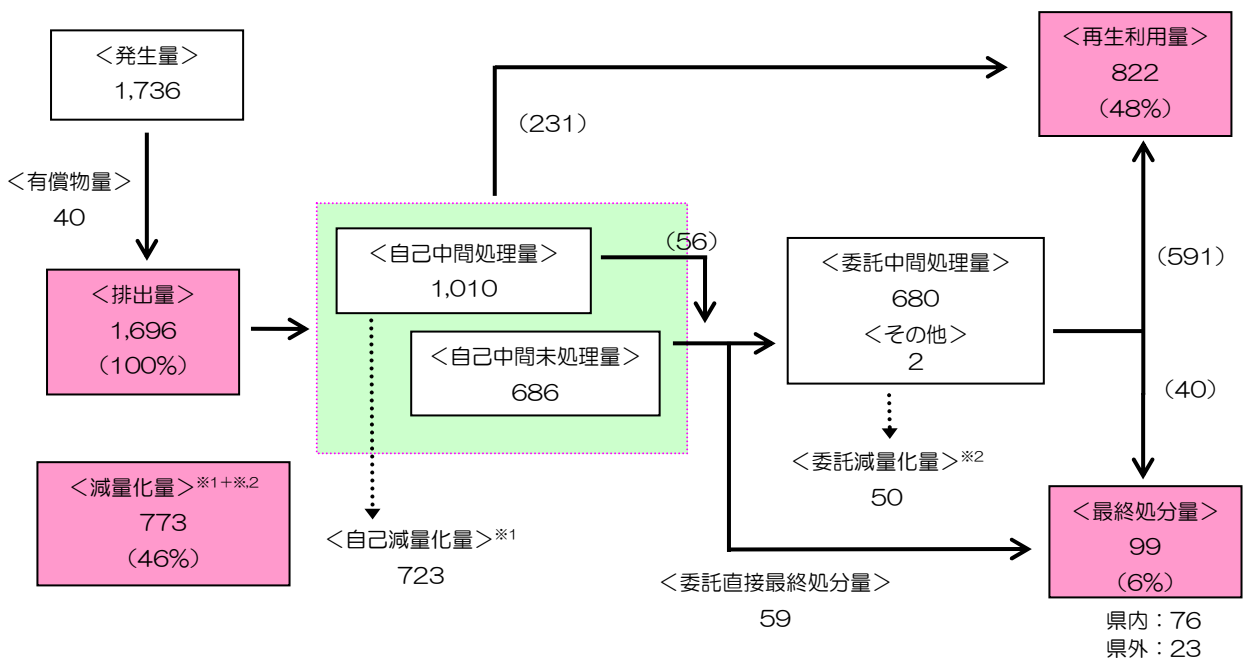
（平成 13 年度と平成 17 年度の比較）

	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他
平成 13 年度（推計値）	1,508（100%）	634（42%）	691（46%）	184（12%）	0
平成 17 年度（推計値）	1,696（100%）	822（48%）	773（46%）	99（6%）	2（0%）

（単位：千 t / 年）

<フロー図>

（単位：千トン/年）



②種類別（平成 17 年度推計値）

※（ ）内は平成 13 年度推計値

	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他
燃え殻	0 (2)	0 (0)	(0)	0 (2)	
汚泥	793 (723)	43 (53)	709 (633)	39 (36)	2
廃油	27 (38)	13 (6)	14 (30)	0 (2)	
廃酸	3 (3)	0 (2)	2 (1)	0 (1)	
廃アルカリ	24 (1)	1 (0)	22 (0)	0 (1)	0
廃プラ	33 (70)	15 (8)	8 (13)	10 (48)	0
紙くず	14 (16)	13 (13)	0 (1)	0 (2)	
木くず	45 (36)	32 (20)	12 (9)	1 (7)	
繊維くず	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
動植物性残さ	16 (7)	12 (4)	2 (1)	1 (1)	
ゴムくず	1 (1)	0 (0)	1 ()	0 (1)	
金属くず	26 (43)	24 (26)	(0)	1 (17)	
ガラス・陶磁器くず	22 (38)	13 (2)	(0)	10 (36)	0
鋳さい	3 (10)	0 (5)		2 (4)	
がれき類	478 (284)	450 (257)	0 (1)	28 (27)	
ばいじん	0 (0)			0 (0)	
動物のふん尿	201 (236)	201 (236)			
その他産業廃棄物	10 ()	2 ()	2	6	
合計	1,696 (1,508)	822 (634)	773 (691)	99 (184)	2

(単位：千トン/年)

③業種別（平成 17 年度推計値）

※（ ）内は平成 13 年度推計値

	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他
農業	203 (237)	201 (236)	0 (0)	1 (1)	
鉱業	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 ()	2
建設業	558 (400)	502 (316)	14 (6)	42 (78)	
製造業	250 (187)	94 (69)	131 (59)	25 (59)	
電気・水道業	660 (604)	10 (3)	620 (588)	28 (13)	0
情報通信業	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0
運輸業	1 (42)	0 (2)	0 (31)	0 (10)	
卸・小売業	13 (19)	7 (4)	3 (6)	2 (9)	
医療・福祉	4 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	
サービス業	4 (19)	2 (4)	1 (1)	1 (14)	
合計	1,696 (1,508)	822 (634)	773 (691)	99 (184)	

(単位：千トン/年)